

(参考) 関係用語集

あ)

アミノ酸バランス改善飼料

飼料中のタンパク質含有量を減らしながら、不足する必須アミノ酸を飼料添加物で補う飼料。家畜排せつ物から発生する温室効果ガスの削減や、排水中の窒素濃度の低減に寄与する。

一般排水基準

特定事業場から公共用水域へ排出される水に適用される、水質汚濁防止法に基づく基準。主に、生活環境の保全を目的とした化学的酸素要求量（COD）や生物化学的酸素要求量（BOD）などの生活環境項目と、カドミウムやシアン化合物などの健康項目が定められている。

か)

活性汚泥

微生物と有機物で構成される浮遊性の有機汚泥。活性汚泥法は、微生物が排水中の有機物を分解することで水を浄化する、日本で最も一般的な排水処理法。

家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律

家畜排せつ物の適正管理と処理設備の高度化、利用促進を通じて畜産業の健全な発展を目指すために平成 11 年（1999 年）7 月 28 日成立し、同年 11 月 1 日施行された法律。本法律の施行規則において、畜産業を営む者（小規模農家を除く）が家畜排せつ物の処理等に当たり遵守すべき基準（管理基準）を明示している。対象家畜は牛、豚、鶏及び馬。

環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（みどりの食料システム法）

環境と調和のとれた食料システムの確立に関する基本理念等を定めるとともに、農林漁業に由来する環境への負荷の低減を図るために行う事業活動等に関する計画の認定制度を設けることにより、農林漁業及び食品産業の持続的な発展、環境への負荷の少ない健全な経済の発展等を図るために令和 4 年 7 月 1 日に施行された法律。

強制発酵施設

家畜の糞尿などの有機物を密閉された空間で、通気や攪拌などの条件を整えて短時間で発酵させるための装置を備えた施設。発酵槽内を回転式の攪拌機が移動、回転しながら

原料を切り返し、攪拌するロータリー式攪拌発酵施設や、縦型の密閉された容器内でスクルーなどの攪拌装置を用いて発酵を促進させる密閉型堆肥化装置（コンポスト）などがある。

クロピラリド

米国、オーストラリア、カナダなどの海外で牧草や穀類の生産に使われている除草剤の成分のこと。クロピラリドを含む飼料を摂取した家畜のふん尿を原料として製造した堆肥には、クロピラリドが残留する場合がある。残留した堆肥を土づくりなどのために使うと、トマトやスイートピーなど、クロピラリドに感受性の高い植物が異常な生育を起こすことがある。

耕種農家

田畑を耕し、作物を栽培する農家。具体的には米麦類、豆類、野菜、果実、花き、工芸農作物などを栽培する農家をさす。

耕畜連携

農作物を生産する耕種農家と、家畜を飼育する畜産農家が協力し、資源を循環させる取り組み。具体的には、畜産農家から出る家畜排せつ物を耕種農家が堆肥として利用し、逆に耕種農家が栽培した飼料作物を畜産農家へ供給する。

コントラクター

畜産農家等から、飼料作物の収穫作業等の農作業を受託する組織。高齢化や飼養規模の拡大による労働力不足に対応するとともに、高性能機械の活用等による作業の効率化・収穫量の増加等に貢献する。

さ)

暫定排水基準

直ちに一般排水基準への対応が困難な業種に対して、暫定的に緩やかな基準値を期限付きで認めたもの。最終的には、一般排水基準に適合させることが求められる。

J・クレジット制度

省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用による CO₂排出削減量、または適切な森林管理による CO₂吸収量を、国が「クレジット」として認証する制度。認証されたクレジットは売買が可能で、購入者は CO₂排出削減目標の達成など、さまざまな用途に活用できる。

指定混合肥料

肥料取締法第 2 条に基づき、農林水産大臣が告示で指定した混合肥料のこと。複数の単肥（窒素質肥料、リン酸質肥料、カリ質肥料など）が一定の割合で混合された、品質・安全性・効果が国によって確認された標準的な肥料。

飼料用米

家畜の飼料として利用される米。稲発酵粗飼料とは異なり、茎葉は利用せず、粳のみを活用する。

施肥

植物の生育をよくするため、土壤に肥料を施すこと。

た)

堆肥

有機物を含む材料を、酸素が十分にある条件下で微生物の作用により発酵・分解させて、成分を安定させたもの。土壤改良資材や肥料として利用される。

堆肥の成分

一般的な化学成分として、pH、EC（電気伝導率）、炭素、窒素、炭素窒素比（C/N 比）、リン酸、カリ、カルシウム、マグネシウム、無機態窒素（アンモニア態および硝酸態窒素）などがあり、これらの成分は作物に対する総合的な養分供給源となるため、肥料資源としての評価を行う場合には必須の化学成分である。とりわけ、窒素、リン酸、カリは作物が多量に吸収、要求するため、肥料三要素と呼ばれている。ほか、銅、亜鉛、鉄などの微量元素も含まれており、豚ふん堆肥には銅と亜鉛、鶏ふん堆肥には亜鉛が多量に含まれる。

堆肥化

各種有機物を原料とし、好気性微生物の働きによって発酵させ、成分的に安定化した堆肥にすること。堆肥化は水分や酸素供給など、原料中の微生物が働きやすいような環境を整える技術。

堆肥散布機

堆肥をほ場まで運搬し、均一に散布するための農機具。代表的なものにマニユアスプレッダーなどがある。主にトラクターで牽引するものから、自走式、トラックに搭載するものなどがある。

堆積式堆肥舎

一般に3方を2 m程度の壁とした箱形の施設の開放部分からショベルローダーなどで原材料を投入し、月1回以上定期的に攪拌を行って堆肥化の促進を図る施設。処理日数はおおむね家畜の糞のみの場合で2ヶ月程度。

WCS用稲

ホールクロップ・サイレージの略で、稲の実が完熟する前に、実と茎葉を一体的に収穫し、乳酸発酵させた飼料。水田の有効活用と飼料自給率の向上に資する飼料作物として、作付面積が拡大している。

畜産クラスター

畜産農家と地域の畜産関係者（コントラクター等の支援組織、流通加工業者、農業団体、行政等）がクラスター（ぶどうの房）のように、一体的に結集することで、畜産の収益性を地域全体で向上させるための取組。

貯留槽

家畜の排せつ物（ふん尿やその処理過程で発生する液体）を一時的に溜めておくための施設。

土壌診断

土壌中の養分状態や物理性・化学性などを把握し、良質な土づくりや適切な施肥管理の方法を知るために行う。

は)

バイオマス発電

家畜排せつ物や木材、食品廃棄物などの生物由来資源（バイオマス）を燃料として発電する方式。バイオマスに含まれる炭素はもともと大気中のCO₂を植物が吸収したものであるため、燃焼しても大気中のCO₂を実質的に増やさないカーボンニュートラルな再生可能エネルギーとされる。

ばっ気

液体に空気（酸素）を供給する工程のこと。特に排水処理では、微生物が有機物を分解するために必要な酸素を供給し、微生物の活性化を目的として行われる。

バラ堆肥

山積みになっている堆肥。袋詰めされていない堆肥。

副資材

家畜排せつ物を堆肥化する際、発酵促進や水分調整を目的として混合する資材のこと。一般的には、おがくず、もみ殻などが使用される。

ペレット化

発酵が終了した堆肥を成形機を用いてペレット状（粒状）に圧縮成形すること。取扱性の観点から粒状の堆肥が望まれることが多い。

ほ場

田や畑、果樹園など、農作物を栽培する農地のこと

ま)

密閉型強制発酵装置

家畜排せつ物、生ごみ、有機汚泥などの有機物を、円筒形の密閉縦型発酵槽内で、攪拌羽根と送風により好気性発酵させる装置。コンポストともいう。

ら)

ロールベアラー

牧草や稲わらを円筒形に圧縮・梱包する農業機械。ロール状にすることで運搬や保管が容易になり、乾草やサイレージとして保存・利用する際に用いられる。